

歴史的景観と文化財の保存と活用の推進



ユネスコ無形文化遺産の「村上祭の屋台行事」をはじめ、地域のまつり文化は盛んです。しかし、少子高齢化による後継者不足や世帯数の減少に伴い、町内会費だけではまつりを維持・運営するための資金が不足するという課題が生じています。加えて、「おしゃぎり」の維持にかかる修理費用も多額であり、市では修理実施にあたって補助金を交付しています。また、歴史的な町並みを保全しつつ、こうした歴史的資源を活用したまちづくりを推進します。

- ① 屋台巡行への支援 2,630万円
交通警備委託料、ユネスコ登録PR費用、露店運営関係経費など
- ② 村上祭の屋台行事ユネスコ無形文化遺産登録記念特別巡行事業への支援 145万円
交通警備委託料、出演謝礼など
- ③ おしゃぎり修理事業にかかる補助金交付 363万円
修理事業費の30%を補助



「おしゃぎり」の車輪製作⇨
⇨「おしゃぎり」巡行



- ④ 歴史的風致形成建造物保存事業補助金 1,789万円
- ⑤ 建造物外観修景事業補助金 200万円

令和7年度 目標額
5,127万円



補助金により整備された町なみ

